

ロフォレストリー活動の改善)の達成に向けた成果が求められるとの評価を受け、予定どおりの協力期間でプロジェクト活動を終了することができたが、プロジェクトに携わって、絶えず上記のことが頭から離れなかった。不勉強がたたっており、この件について、読者の皆様のご意見が欲しいと切に願っているところである。

最後になるが、プロジェクトの成果の一つとして、住民の生計向上に向けた普及ガイドラインを英語・ベトナム語の2言語で作成した。このガイドラインは、各種営農活動の技術編及び生計向上計画運

営管理編から構成されており、次のウェブ・サイトで公開されている。<https://cid-006c5d789f41ce3b.skydrive.live.com/home.aspx> ご興味のある方、特にベトナムで村落開発に従事されておりベトナム語でのこの手の資料の入手にご苦労されている方が閲覧して下さると幸甚である。

〔参考・引用文献〕 国際協力機構(2008)ベトナム国中部高原地域持続的森林管理住民支援プロジェクト事業完了報告書

図書紹介

森の恵み：アジアの食べ物、香辛料、工芸品と樹脂



チトラリ ペロス、パトリシア シャンレイ編、藤間 剛・大田誠一・福島万紀監訳(原題 Riches from the Forest: Foods, Spices, Crafts and Resins in Asia. CIFOR 出版, 2004, 119p.) 日本語訳 2008

本書は、CIFOR が行った非木材林産物に関するプロジェクト(Broader NTFP Case Comparison Project)の成果の一部を一般向けに出版したものの日本語訳であり、CIFORのウェブサイト(<http://cifor.cgiar.org>)から、無料でダウンロードできるようになっている。

人類は森林から木材を得るだけでなく、葉、果実、樹皮、あるいはキノコや昆虫などの様々な森の恵みを利用してきたが、都市に暮らす者は、それがどのように採取、加工されたかを知ることは少ない。それをわかりやすく解説することが、本書の目的である。

本文では20の研究事例が取り上げられている。ハチミツや燕の巣など昆虫や動物に由来する事例もあり、植物以外には馴染みのない林学や林産学出身者には興味深いものであろう。各事例では、それぞれの特徴、利用の変遷、収穫および管理方法、加工および取引の実態を具体的に紹介し、その後、各著者が最近の動向や問題点についてコメントしている。最後の章では、各事例から共通事項として学ぶべき教訓が結論として述べられている。「林産物の需要や供給が変化すると何が起きるか」を分析し、「公平で持続的な林産物の取引」を実現するための提言がなされており、アグロフォレストリーに関わる方々に一読をお勧めしたい。

本書は、写真をもとに作成したわかりやすいイラストが各ページに挿入され、一般向けに、気軽に楽しく読める構成になっている。しかし、記載内容自体は研究成果をもとにしたものであり、参考文献も記載されているため、研究者にとっても有益なものである。(加藤 厚)